

別紙4 「探究活動・プレゼンテーション」ルーブリック（自己評価）

担当教員に提出
チェックの後、Classiに入力作業

評価項目/レベル	レベル1（不可）	レベル2（可）	レベル3（良）	レベル4（優）	点数 (1～4)
課題発見力	テーマが漠然としており、調査の目的や項目、仮説が不明確である。	テーマが設定されているが、調査の目的や項目、仮説などがわかりにくい。	実現可能なテーマ設定がなされ、調査目的や項目、仮説が示されている。	実現可能で発展性のあるテーマ設定に成功しており、調査目的や項目、仮説も具体的かつ明確に示されている。	
構成内容 (論理性)	「課題設定のねらい」「仮説」「調査内容」「具体的提言」の体裁だけは守られている。	それぞれの内容について、論旨に一貫性があり、大きな論理的矛盾もなが、やや荒さも見られる。	それぞれの内容について、論旨が一貫性があり、論理的矛盾などもほとんど見られない。	それぞれの内容、特に提言についての反論も意識された構成や表現がなされている。	
提言力 (課題解決力)	高校生レベルに達していない残念な提言。(誰でも考えられるようなレベル)	持続可能な「地域社会」の実現のためのそれなりの提言ができている。(ただし、よくある目新しさのないレベル)	持続可能な「地域社会」の実現のための、建設的な提言ができている。	持続可能な「地域社会」の実現に向け、自治体や企業等に実際に提言できる高水準の内容となっている。	
調査力	簡単なネット検索のみが行われたのみ。(先行事例・研究が把握できていない)	限られた情報源ではあるがよく調べ、関係機関へのインタビュー等も行うことができている。(先行事例・研究に触れられている)	複数の情報源から情報を集め、それを集約しながら、効果的に関係機関からの情報収集にも成功している。	本格的な調査に加え、大学や自治体・企業などにアプローチし論文なども参考にして、先行研究や先行事例も把握しつつ調査を進めることができている。	
話し方・態度	チェック項目が0～1	チェック項目が2～4	チェック項目が5～7	チェック項目が8～9	
	<input type="checkbox"/> 大きな声で発表している。 <input type="checkbox"/> 姿勢が良く、聴衆を意識して話している(体の向き、ジェスチャーなど)。 <input type="checkbox"/> 聴衆を見ながら(原稿にあまり頼らず)話している。 <input type="checkbox"/> 滑舌よく、メリハリをつけて話している。 <input type="checkbox"/> 平易で誰が聞いてもわかりやすい言葉で話している。 <input type="checkbox"/> 間の取り方や話すスピードが適切である。 <input type="checkbox"/> 時間を意識して話することができる。 <input type="checkbox"/> 機材の操作が的確でスムーズである。 <input type="checkbox"/> 役割分担を工夫し、チーム全体でプレゼンできている。				
P P 資料の 完成度	チェック項目が0～1	チェック項目が2～4	チェック項目が5～7	チェック項目が8～9	
	<input type="checkbox"/> 文字の大きさやフォントが適切である。 <input type="checkbox"/> テキストの分量が適切である。 <input type="checkbox"/> グラフや図・写真などが効果的に使われている。 <input type="checkbox"/> 適切なスライド枚数である。 <input type="checkbox"/> テキストが簡潔でわかりやすい表現になっている。 <input type="checkbox"/> 話の展開とスライド内容が一致している。 <input type="checkbox"/> データの出所や引用の出典、調査日時等が明記されている。 <input type="checkbox"/> 色使いやデザインなど、内容に合った見やすい工夫がなさ <input type="checkbox"/> スライド毎の情報量や時間配分に偏りが無い。				

良かった点・評価できる点

反省すべき点・改善すべき点

最終発表について、ルーブリックもふまえて総括してみてください。